

安全報告書

2022年度版



会津鉄道株式会社

ご利用者はじめ地元の皆さまへ

弊社の鉄道事業に対して、日頃よりご利用とご理解をいただきまして誠にありがとうございます。

「安全報告書 2022 年度版」の発行に当たり、ごあいさつ申し上げます。

会津鉄道は、昭和 62 年 7 月に福島県と会津地方 17 市町村並びに団体、企業及び個人の出資により設立され、第三セクターの鉄道会社として開業しました。

開業以来、法令遵守の徹底及び安全輸送の確保に対して積極的に取り組むとともに、老朽設備の補修・更新を計画的に進め安全性の向上を図っております。

2021 年度は、当社を取り巻く経営環境は少子高齢化の進展による沿線人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い首都圏をはじめとした各地で断続的に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令された影響などにより、お客さまのご利用が低調に推移しました。そのような中、福島県、会津若松市、南会津町、下郷町さまから緊急支援を頂き大変に感謝しております。

新型コロナウイルス感染症対策として、会津鉄道をご利用するお客さま及び社員の健康被害を回避するため、お客さまと直接応対となる場所へのアクリル板の設置や、24 時間抗菌できる前年よりも強力な抗菌コーティングを車両室内に施しました。

また、脱線事故防止のため、線路の木マクラギからコンクリートマクラギ（PCマクラギ）への交換も計画通りに施工でき、線路の強化も順調に進んでいます。

2022 年度は、更に安全で安定した輸送の提供に努め、お客さまに安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条に基づき、弊社の輸送の安全確保のための取組みや、安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまの声を輸送の安全に取り入れるために、広くご意見をいただければ幸いです。

会津鉄道株式会社

代表取締役社長 鈴木 重敏

1 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

基本方針の第一は、「鉄道の基本的使命である輸送の安全確保を完遂する」ことです。お客さまが安心してご利用いただけるよう安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

【安全基本方針】

1. 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
2. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
3. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをすること
4. 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先として行動し、2次災害を防止する等速やかに安全適切な処置をとること
5. 情報は漏れなく迅速、正確、確実に伝えること
6. 常に問題意識を持ち、問題解決のための必要な改善を行なうよう努めること

(2) 安全目標

2021年度は、「事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー『ゼロ』」を目標に掲げ取り組みましたが、確認の疎漏による機器等の取り扱い誤り（ヒューマンエラー）は減少していないことから、2022年度も引き続き「事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー『ゼロ』」を目標としました。

【2022年度の安全目標】

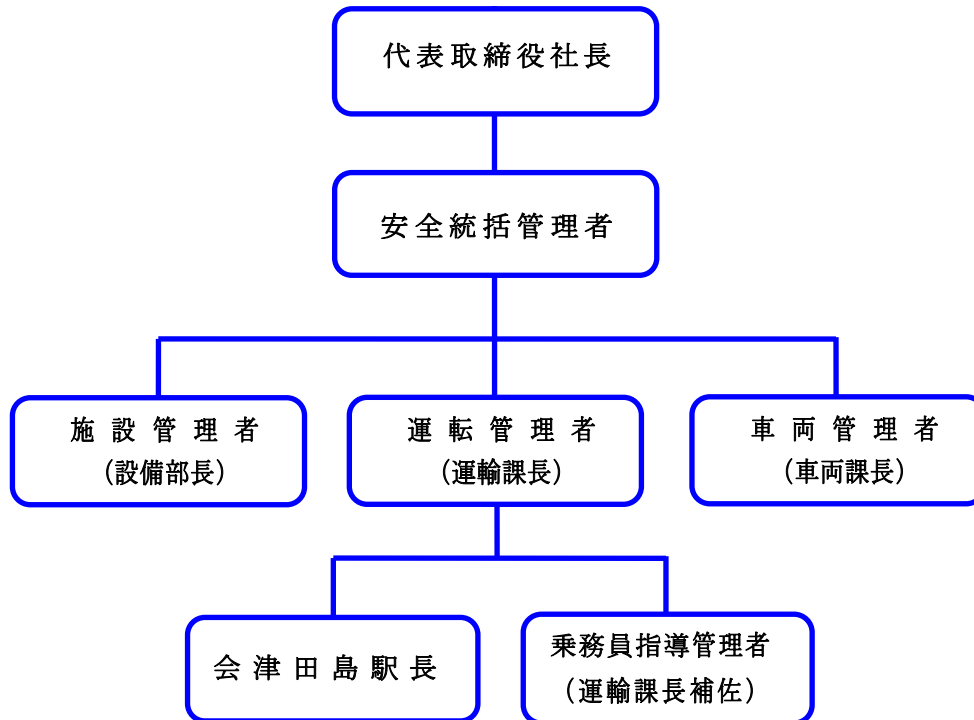
◇ 事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー『ゼロ』

- ・ お客さまが死傷する重大事故を発生させない
- ・ 事故に結びつくインシデント（事故の兆候）を発生させない

2 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

【体制図】



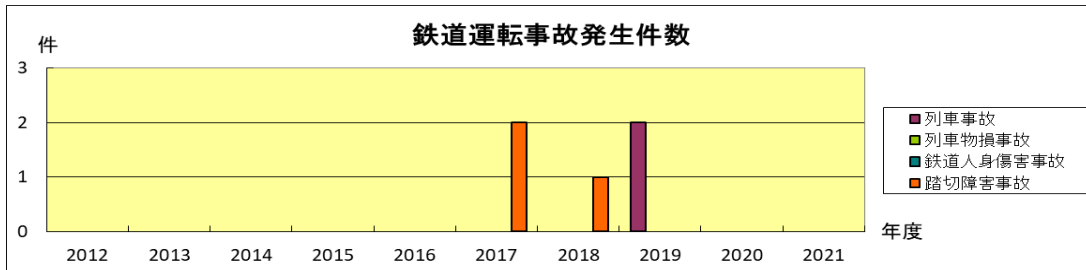
【各管理者等の役割】

役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最高責任者
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行計画の設定、運転士及び車掌の資質の保持、他運転に関する業務を管理する
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する業務を統括管理する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する業務を統括管理する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の指導・育成や資質の維持・向上に関する業務を行なう
会津田島駅長	運転管理者の指揮の下、駅運転取扱いに関する指導・育成や資質の維持・向上業務を行なう

3 2021年度 鉄道運転事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

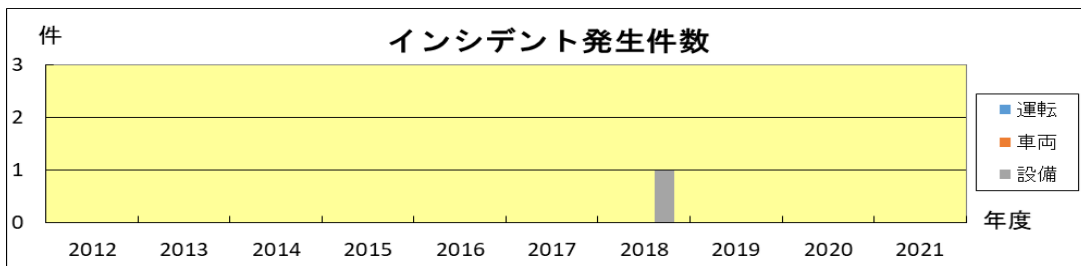
2021年度は、鉄道運転事故の発生はありませんでした。2年連続鉄道運転事故0で推移しております。



- ※ 列車事故 : 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故を指す
- ※ 鉄道物損事故 : 列車又は車両の運転により五百万円以上の物損を生じた事故
- ※ 鉄道人身障害事故 : 列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故
- ※ 踏切障害事故 : 踏切道において、列車または車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故

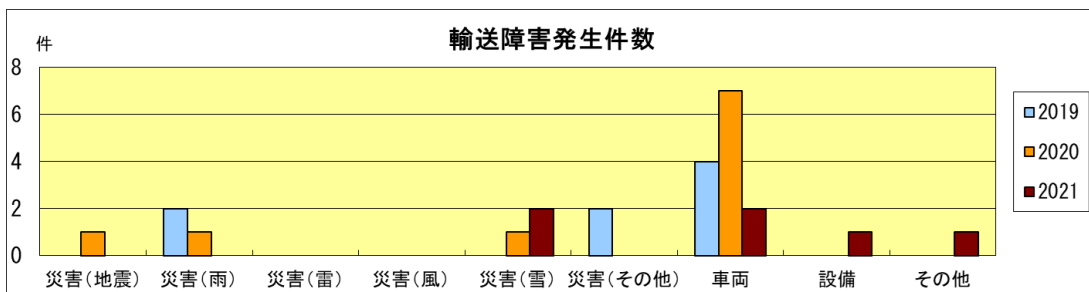
(2) インシデント（事故の兆候）

2021年度は、インシデントの発生はありませんでした。



(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休を伴う災害や故障、部外原因等）

2021年度は、輸送障害が6件（対前年度▲4件）と減少しました。内容は、車両故障が2件（対前年度▲5件）と大きく減少し、地震や雨に伴う災害は発生しませんでした。雪に伴う障害が2件（対前年度+1件）でした。設備関係では落石検知設備の故障による障害が1件（対前年度+1件）発生しました。



(4) 行政指導等

2021年度は、東北運輸局より10月26日から29日までの間で保安監査を受け3件の改善指示事項を受け、2022年3月11日に改善を完了しました。

4 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルスの感染防止対策として、お客さまと直接応対となる駅窓口及び列車運賃箱へのアクリル板の設置や、全車両の室内に 24 時間抗菌・抗ウイルス効果を発揮するコーティングを施しました。また、車内換気の強化やお客さまにマスク着用を呼びかけるなど感染防止に努めています。

(2) 安全重点施策

土木構造物等は全体的に老朽化傾向にあり設備の補修や改良等を計画的に進めています。

安全対策工事は、国の鉄道施設総合安全対策事業補助金などを活用し、計画的に実施しています。2021 年度は、線路設備の更新及び落石等の防護設備の設置、信号装置等の更新を実施しました。2022 年度も継続して取り組んでまいります。

◇ 2021 年度に実施した主な安全施策工事

- ・ レール交換 (弥五島～会津下郷駅間の 772m)
- ・ PCマクラギ交換 (門田～会津荒海駅間の 2,000 本)
- ・ 橋マクラギ交換 (野上温泉～塔のへつり駅間 第五大川橋りょうの 98 本)
- ・ 分岐マクラギ交換 (会津下郷駅構内の 32 本)
- ・ 落石等防護設備 (七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の 54m)
- ・ 連動装置リレー等更新 (西若松駅・会津下郷駅の 105 個)
- ・ 車両制御装置更新 (気動車 AT-601, AT-652 2 両)

◇ 2022 年度に予定している主な安全施策工事

- ・ レール交換 (芦ノ牧温泉南～湯野上温泉駅間の 575m)
(会津下郷駅構内の 185.5m)
(七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の 400m)
- ・ PCマクラギ交換 (門田～会津高原尾瀬口駅間の 2,020 本)
- ・ 橋マクラギ交換 (会津下郷～ふるさと公園駅間 第六大川橋りょうの 105 本)
- ・ 分岐マクラギ交換 (会津下郷駅構内の 10 本)
- ・ 落石等防護設備 (芦ノ牧温泉～大川ダム公園駅間の 73m)
- ・ 連動装置リレー等更新 (西若松駅門田駅の 159 個)
- ・ 信号保安設備更新 (列車集中制御装置内電源ユニット等)
- ・ 東武列車無線更新 (新スプリアス対応 5 両)

(3) 社員の資質向上

① 人材の育成

安全・安定輸送には、乗務員や技術系社員等の育成が欠かせません。このため、関係技術の資格取得や関係協会等で実施する運転及び技術関係の研修会・講習会に参加して、知識及び技術力の向上を図っています。

◇ 2021年度に取得した資格

No	資格名	系統	合格者数
1	甲種内燃車運転免許	運輸	1

◇ 2021年度に受講した主な研修会・講習会

No	研修名	主催	系統	受講者数
1	運輸安全マネジメント 内部監査員研修会	(一社)日本民営鉄道協会	運輸	1
2	指導運転士研修	東北鉄道協会	運輸	1
3	運転関係指導者講習会(リモート)	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
4	運転理論講習会(リモート)	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
5	運輸管理ゼミナール(リモート)	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
6	運転法規研修講座(リモート)	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
7	分岐器の構造	(株)日本線路技術	施設	1
8	軌道に関する法令と実施基準	(株)日本線路技術	施設	1

② 他関係機関との合同訓練

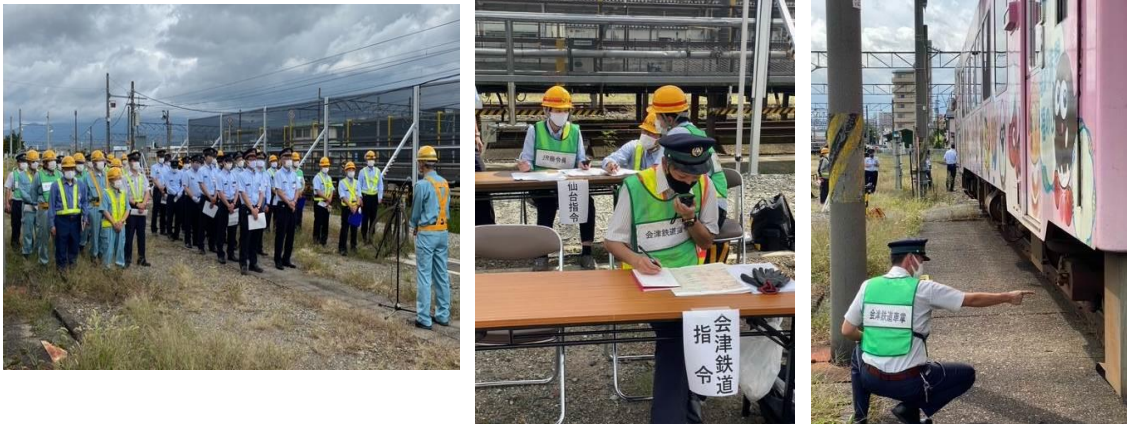
運転関係係員の資質向上を図るため、計画的に訓練等を実施しています。2021年度は、毎月の指導訓練のほかに次の訓練を実施しています。

- ・ 7月 東武鉄道(株)・野岩鉄道(株)と合同で、信号故障時の取扱い訓練を実施
- ・ 8月 駅社員に信号機器取扱い訓練を実施
- ・ 9月 鉄道事故対応訓練(列車脱線復旧訓練)を実施
- ・ 9月 JR仙台支社と合同で踏切事故発生時の併発事故防止訓練を実施

《鉄道事故対応訓練》



《 JRとの併発事故防止訓練 》



(4) 踏切における事故防止

春と秋に行われる全国交通安全運動時に、沿線小学校に踏切事故防止の啓蒙活動を行うとともに、各列車における車内放送で同運動期間中であること、踏切を渡るときは一旦停止を行い左右の安全確認を行うこと等と呼びかけています。

また、降雪期は踏切内で自動車が立ち往生しやすいことから、降雪前の11月に踏切事故防止訓練会を実施しています。南会津警察署、南会津消防署、南会津町役場、自動車学校、沿線の運輸事業者の方々等に参加していただき、踏切の遮断桿に閉じ込められた時の脱出方法や、列車を緊急停止させる方法等を実際に体験することにより事故防止に役立てていただいております。



(5) ホームにおける旅客の転落防止

視覚障害者の方が、ホームから線路へ転落することを防ぐため、全駅のホームに点状ブロックの設置を進めています。また、視覚障害者の方が乗車される場合は、関係各所と連絡を取り合い、安全に乗車できるように対応しています。

(6) 無人駅における防犯

無人駅及び夜間無人になる駅の防犯として「無人駅防犯連絡協力会（おらが駅守り隊）」を設立し、地域の皆さまからご協力をいただいております。

(7) 委託会社・協力会社との安全に関する取り組み

設備の点検・整備等を委託している会社や各種工事を施工している会社の安全協議会や大会に参加し、事故防止に係る教育や情報交換などを実施し事故防止を図っています。



(8) その他安全の取り組み

①お客さまの信頼に応えるため

乗務員などの運転に係る社員は、定期的に運転適性検査を実施し資質を確認するとともに、出勤点呼及び出先点呼時にアルコール検知器を使用して酒気を帯びていないことを確認しています。また、新型コロナウイルスの感染防止対策として体温測定を行い異常の無いことを確認して業務についています。

②安全総点検の実施

GW輸送、夏期輸送、年末年始輸送等の多客期には、社長及び各部課長が、現場を巡回して輸送の安全について確認しています。また、各期間中、異常時に素早く対応できるよう連絡体制の強化を図っています。

③ヒヤリハットの活用

社員等がヒヤリとしたことや危険を感じたことに対して適切に対応し、事故の発生を防止します。そのために社員とのコミュニケーションを大切にしています。

④テロ対策

テロを未然に防止するため、始発前の車内の点検、各駅及び車両基地の巡回を行い、異常の有無を確認しています。また、福島県公共交通関係機関テロ防止連絡協議会が主催する「公共交通機関におけるテロ対策総合訓練」に参加するとともにレベルに応じた対応ができるように、「鉄道テロ対応マニュアル」を策定しています。

5 会津鉄道からのお願い

(1) 踏切の警報機が鳴り始めたら、踏切に入らないでください。

踏切が鳴り始めたら列車が接近しています。大変危険ですので、列車の通過を待つて安全を確かめてからお渡りください。

万が一、自動車が踏切内に閉じ込められたときは、自動車を前進させ遮断桿を押し上げて脱出してください。

(2) 線路のそばでは遊ばないでください。

列車は、急には止まりません。運転士が危ないと判断し緊急停止手配をとっても、止まるまで400m程度かかる場合があります。

危険ですので線路のそばでは絶対に遊ばないでください。もし、遊んでいるお子様を見かけましたら、ご注意くださいようお願いいたします。

6 ご連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取組みに対するご意見は、下記にお願いいたします。

会津鉄道株式会社

〒965-0853 福島県会津若松市材木町一丁目3-20

TEL 0242-28-5885 Fax 0242-26-9730